

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003年8月5日

2003年8月3日現在：

高温・乾燥気象が続き、8月3日に終わる週の平均気温は平年を2～10度F上回った。降雨は極めて少なく、南中央地区の一部と北部地区の一部で記録されたのみであった。州平均農作業日数は6.9日（前週：6.9日）であった。土壌水分は更に減少した。

冬小麦の収穫は高温・乾燥気象の下で、昨年並びに5年平均より早いペースで進んだ。8月3日現在、全州の冬小麦の37%が収穫された（昨年同期：15%、平年：20%）。

春小麦も例年より早く収穫期を迎え、全州の6%が収穫された（昨年：3%、平年：4%）。春小麦の作柄評価は前週より多少落ちた。

収穫の進んでいる南西地区と南中央地区のソフト小麦の蛋白質は、10.5～11.0%（水分：12%ベース）程度との報告があった。

7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では別表の通り。単位収量は6月1日予想と変わらず82.0 bushels/acreであったが、収穫面積が6月1日予想より10,000 acres増加した。

Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	33	41	26	0
Last week (%)	30	40	30	0

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	11	23	37	28	1

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring Wheat (%)	0	12	25	45	18
Winter Wheat (%)	0	2	31	42	25

小麦進捗状況：8月3日現在

	North			S. W.			S. Cent.			State		
	8/3	A	Ave	8/3	A	Ave	8/3	A	Ave	8/3	A	Ave
Spring Wheat Harvested (%)	11	3	3	55	35	19	4	6	6	6	3	4
Winter Wheat Harvested (%)	24	10	18	65	52	42	71	18	23	37	15	20

A:2002年同期。 Ave:5年平均

Source：Idaho Agricultural Statistics Service

次のページへ

7月1日付け農務省発表冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	June 1		
Idaho	690	720	79.0	82.0	82.0	54,510	59,040

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃 : E-mail ogawa.max@omicnet.com